

実習内容
ならびに
スケジュール

痛み教育センター

曜日	時間	内容	担当	集合時間	集合場所
月	9:30	プレテスト・オリエンテーション	佐藤	9:30	2号館2階 ペインクリニック外来
		外来見学	橋本		
	12:00	昼食			
	13:30	透視下ブロック見学	高雄	13:30	1号館2階TVセンター5番
	15:30	ミニレクチャー	高雄	15:30	1号館5階 ペインクリニック部 カンファレンス室
火	10:00	痛み患者の心理テスト	佐藤	10:00	1号館5階 ペインクリニック部 カンファレンス室
	12:00	昼食			
	13:00	エコーで神経を描出する 「超音波ガイド下末梢神経ブロック」 レクチャー	佐伯	13:00	2号館2階 ペインクリニック外来
		「局所麻酔、区域麻酔」レクチャー			
水	10:00	「慢性疼痛に対するリハビリテーション」 レクチャー	曾田	10:00	1号館4階 医療人育成研修センター 共用カンファレンスルーム④
	11:00	「痛みに寄り添う看護」レクチャー	池田	11:00	
	12:00	昼食			
	15:00	「慢性疼痛の心理」レクチャー	吉田	15:00	1号館4階 医療人育成研修センター 共用カンファレンスルーム④
木	10:00	レポート作成			
	12:00	昼食			
	14:00	緩和ケア講義	棚田	14:00	1号館5階 ペインクリニック部 カンファレンス室
	15:30	「運動器疾患の疼痛誘発テストの講義」 その実習	井石琢/辻	15:30	8号館6階 整形外科 カンファレンスルーム
金	10:00	ポストテスト、レポート提出	佐藤	10:00	2号館2階 ペインクリニック外来
		手技の練習	石本		
	12:00	昼食			
	13:30	透視下ブロック見学 総括	高雄	13:30	1号館2階TVセンター5番

◎ 診療科名： 痛み教育センター

◎ 責任者氏名： 廣瀬宗孝 主任教授

◎ 教育担当教員氏名： 高雄由美子 教授

◎ 実習概要

1. ペインクリニックカンファランス、2. 慢性疼痛患者の診察、3. 模擬実習（腰椎穿刺）、4. 模擬実習（超音波ガイド下神経ブロック）、5. X線透視下神経ブロックの見学、6. 脊髄刺激電極植込術の見学、7. 緩和ケアカンファランス、8. 緩和ケア患者の診察、9. 緩和ケア回診、10. 教授回診などを行い、慢性疼痛をもつ患者さんや緩和ケアを必要とする患者さんの診察、慢性疼痛治療の立案、緩和ケアの立案ができることを目指す。

◎ 到達すべき学修成果（アウトカム）

- ・急性疼痛と慢性疼痛を鑑別できる
- ・侵害受容性疼痛と神経障害性疼痛を鑑別できる
- ・慢性疼痛の的確な診断と治療の立案ができる
- ・慢性疼痛の集学的治療について理解できる
- ・痛みの診断と治療の技術を身に付ける
- ・がん性疼痛の的確な診断と治療の立案ができる

◎ 卒業時アウトカムとの関連

Web シラバス「臨床実習のアウトカム評価」参照。

◎ 事前学修内容(時間)

- ・4年次の「臨床疼痛学」をよく復習すること（2日）
- ・2年次の薬理学の鎮痛薬を復習してくること（3時間）

◎ 評価方法

	S	A	B	C
知識	痛みに関連する生理学、解剖学の知識が十分ある	痛みに関連する生理学、解剖学の知識がある程度ある	痛みに関連する生理学、解剖学の知識が不十分である	痛みに関連する生理学、解剖学の知識が足りず実習継続が困難である
	鎮痛薬の知識が十分ある	鎮痛薬の知識がある程度ある	鎮痛薬の知識が不十分である	鎮痛薬の知識が足りず実習継続が困難である
技能	模擬実習で患者管理を的確に行える	模擬実習で患者管理をある程度行える	模擬実習で患者管理が不十分である	模擬実習で患者管理ができない
	医学知識を臨床応用できるレベルに達している	医学知識をある程度は臨床応用できる	医学知識を臨床応用するには不十分なレベルである	医学知識を臨床応用できない
態度	実習に積極的に参加し、周囲とのコミュニケーションが良好にとれる	積極的に質問もよくする	ノルマはこなしているが、やや消極的	実習内容に興味を示さない

◎ 注意事項

- 集合場所と時間
月曜日9:30AMに2号館2階ペインクリニック外来に集合すること。
- 外来見学及び透視下神経ブロック見学時
筆記具のみ持参。荷物を持たずに集合すること。
- 遅刻や欠席の連絡について
ペインクリニック部医局 0798-45-6819 まで連絡すること。